

歯学科カリキュラムポリシー

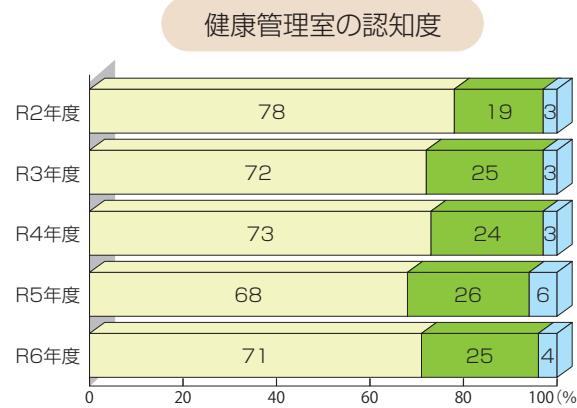
- 全人的歯科医療を展開する者として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目及びコミュニケーション能力を培う科目を充実させる。
- 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野及び専門臨床分野科目及びプロフェッショナリズム関連科目を充実させる。
- 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカル及びクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる。
- 全ての世代において全身の健康増進の視点に立った安全な歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる。
- 多職種連携の重要性を理解するために、学外施設での臨床実習科目を充実させる。
- 問題解決能力及び研究能力を醸成するために、チュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる。
- 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる。

アンケート調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、令和2年度～令和6年度の5年間で比較しました。

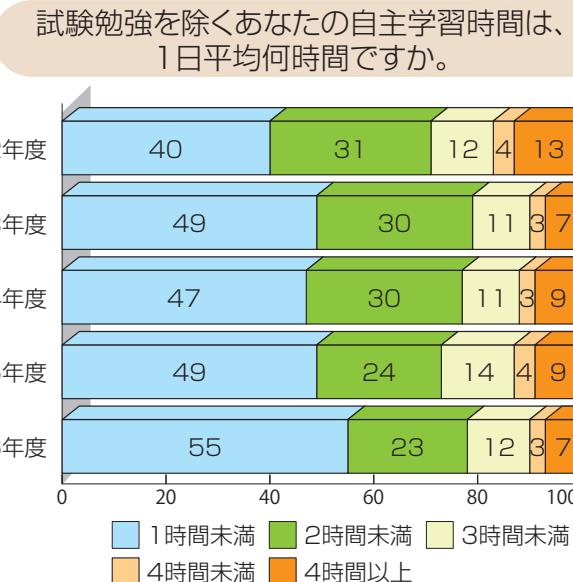
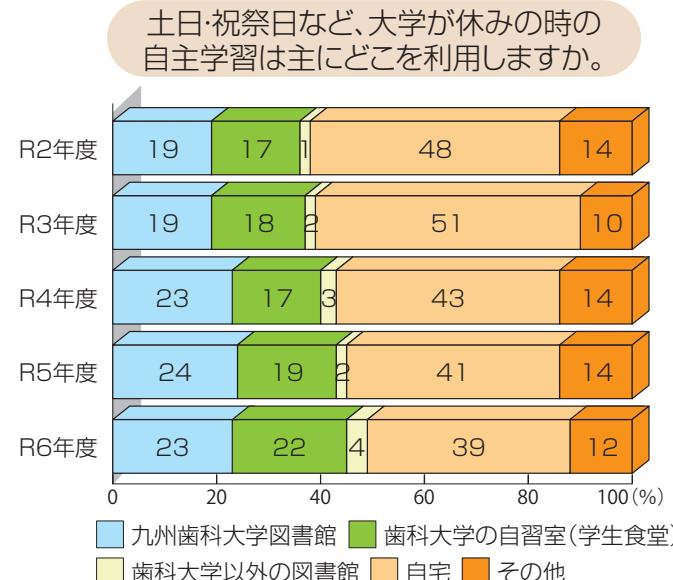
① 健康に関する相談室の認知度

キャンパスライフガイダンスで案内するなど、健康管理室と学生相談室の認知度向上に努めています。令和6年度は健康管理室を利用したことがあると回答した学生の割合は31.2%、学生相談室を利用したことがあると回答した学生の割合は9.2%でした。



② 自主学習の場所と時間

休日の自主学習場所は、学内が増加しており、自宅は減少しています。1日の自主学習時間が1時間未満の割合は歯学科において1年生70.3%、2年生66.7%、3年生74.1%、4年生33.3%、5年生49.1%、6年生32.5%でした。一方、4時間以上の割合はCBTを受験する歯学科4年生で18.5%、国家試験を受験する6年生で25.3%でした。1時間未満の割合が増加しているのが気になります。



③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

本学が生活面でのニーズを把握できているかという学生の満足度は、「そう思う」および「どちらかといえばそう思う」が着実に増加しています。「そう思わない」および「どちらかといえばそう思わない」には変化がありません。満足度が低い理由を確認して改善していくことで、さらなる満足度の向上を目指します。

